



元気っ子

No 330 ながさわ保育園

園長 中瀬 弦 偉

OECD（経済協力開発機構）が3年ごとに実施をしています、15歳児を対象とした世界的な学習到達度調査（PISA）においては、読解力・数学的リテラシー・科学的リテラシーの全ての分野において、日本はトップクラスの成績を残しています。このことはご存知の方も多かもしれません。しかしながら、新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、世界中で学校が休校になったことを受けて、2022年にOECDは別の視点での調査をしました。それは「学校が再び休校になった場合に自律学習を行う自信があるか」というものです。この調査において、日本はOECD加盟37カ国中34位でした。

この調査結果から見えてくることは、日本の学生は「大人からの指示には素直に従うことで学力等を向上させる資質をもっているが、指示がないと自律的に学習を進めていくことが難しい」ということだと考えられます。

また、先日、研修先で熊本市教育長の遠藤洋路先生の講演会に参加させて頂き、興味深いお話を伺いました。それは人工知能、いわゆる「Chat GPT」が大学入学共通テストを回答した場合のお話です。前年度においては正答率が66%だったものが、今年度には正答率が91%にまであがっています。この91%という数値は東京大学合格のレベルです。ここまではある程度想定されている方も多いかと思いますが、さらにその先、2029年には1台のPCが人間の能力と等価になる試算が出されており、2045年には1台のPCが全人類の能力を超えて、全人類の知能の10億倍になると言われています。

これらの話を踏まえて、我々全ての大人一人一人が考えなくてはいけないのは、「知識学習の価値」だと言えらると思います。誰もが簡単に端末を叩いて知識を得られる時代において、膨大な時間を割いて知識を叩きこむことに、どれだけの価値を見出せるかを考えていかななくてはならないと思います。そして、その一人一人が感じる価値観をどのように子どもたちに伝えていくのかを、一度ご家庭でも考える時間を持って頂いてもいいのかもしれません。

これはあくまでも、私個人の感じた感想ですが、知識学習はこういった時代になっても一定の価値を損なわないと思っています。それは「知識は人の心を美しくすることができる」と思うからです。今回、熊本に研修に行き、早朝に熊本城周辺を一人で散策に出掛けました。熊本城は「武者返し（二様の石垣）」という石垣が有名で、西南戦争においても陥落しなかったことで有名です。ここまでの知識は端末を叩けば出てきますが、私はその石垣を目の当たりにして、その美しさに感動しましたし、地震で被害を受けた城の復興に30年かかると聞けば、築城の名手でもある加藤清正がいかにすごい才能を持っていたかに感銘を受けました。

そして、こういった心を美しくするための知識学習は「やらされ」では生まれえないとも思います。人間の知的好奇心を満たす学習でないと、感動はできないのではないかと思います。学びに向かう意欲や主体性、これらの感情は、本来人間は生まれたときから備わっていますが、不思議なことに小学校高学年頃には失ってしまうと言われてています。そうだとすれば、これこそが、今の乳幼児教育に必要なことであり、全ての大人が意識をして子育てしていかななくてはならないことだと思っています。

今月は生活発表会があります。子どもの主体性を大切にしたい取り組みを是非、お楽しみ下さい。